

ばぶよち びょん!

～子育て支援のページ～

Vol.11

子育て中のパパ・ママに聞いた『子育てアンケート』結果3・4

(※一部回答・意見を抜粋)

『最近いちばん困ったこと』

- 1位 寝かしつけ、イヤイヤ期、
子どもの病気やけが
- 2位 食べ物を投げる(こぼす)、
上の子の赤ちゃんがえり
- 3位 子どものこだわりや反抗、
トイレトレーニング、
子どもからずっと目が離せない

その他、友だちに手を出す、大声を出す、ママから離れない、迷子、経済的なこと、上の子をかまってあげられないなど

『私のストレス解消法』

- 1位 甘いものを食べる(食事する)
 - 2位 買い物する・身近な人に話す
 - 3位 お出かけする
 - 4位 寝る・テレビやDVDを見る
 - 5位 友だちと遊ぶ・1人の時間を作る
- その他、実家に帰る、お酒を飲む、お風呂に入る、運動する、歌う(声を出す)など

誰でも子育てに困ったり、イライラしたりしてしまうことがあります。そんなときは子育て支援施設を活用しましょう。大事なのはママ自身の健康です。自分に合ったストレス解消法を見つけましょう♪

「子育てアンケート」は平成27年4～5月に、町内の子育て施設で実施しました。ばぶよちびょんでは、特に反響の大きい項目をご紹介します。なお、アンケート全体の回答は、町ホームページで公開しています。

【アンケート実施施設】子育て支援センター☎(294)4820、毛呂山みどり保育園子育て支援センター☎(294)1115、東公民館子育て支援室☎(294)1800、児童館☎(295)4111 ご協力ありがとうございました。



毛呂山歴史散歩 第261回

明治時代の旅事情 ～川角八幡神社の巡拝塔～

江戸時代後期から、各地の霊場を巡拝する「札所巡り」など、寺社への参拝などを目的とした旅行が庶民に普及しました。

明治時代にも旅行の習慣は続き、明治28(1895)年、川角村・高麗村・飯能村(現在の毛呂山町川角地区・日高市・飯能市)の有志8人が、浅間山(長野県・群馬県)、立山(富山県)、金峯山(山梨県・長野県)、羽黒山(月山、湯殿山)(山形県)、金華山(宮城県)の7山巡りに旅立ちました。

8月1日に出発した一行は、江戸時代とは異なり、汽車や汽船を利用しました。また、この旅の道中には寄り道が多く、各地で寺社や観光名所に足を運んでいます。長野県では善光寺や戸隠神社に参詣。新潟県では天然ガス

や石油の産出地を見物し、宮城県では作並温泉や松島を遊覧。仙台から大宮まで汽車に乗り、9月26日に帰着しました。

旅程は大変興味深いもので、汽船で新潟県直江津から富山県魚津へ行き立山を登山。その後汽船で直江津に戻り、更に山形へ向かおうとしますが、海が荒れているため海路を断念し陸路に変更するなど、天候にも左右されながら慌しく各地を移動しています。

また、江戸時代の人びとと同様、彼らは明治30(1897)年にこの旅を記念した巡拝塔を川角八幡神社に建立し、旅の詳細を刻みました。

明治時代になり、旅の楽しみ方は江戸時代に比べて大きく変化しましたが、巡拝の旅が時代を超えて続いたことは、これらの旅が人と人とのつながりを深める手段として根付いたものと考えられます。



川角八幡神社の巡拝塔